

※クリックすると記事のページを開きます。

①オンラインタンDEM学習報告（2020 年 9 月）：「コロナ状況下の生活」.....	2
②オンラインタンDEM学習報告（2020 年 10 月-2021 年 1 月）	4
③冬学期オンライン集中講義報告（2021 年 2 月）	8

①オンラインタンデム学習報告（2020 年 9 月）：「コロナ状況下の生活」

ビルマ語班では、協定大学ヤンゴン大学国文学部に設置された本学の Global Japan Office の協力を得て、下記の通りオンラインタンデム学習プログラムを 2 回実施しました。2 日間の合計で、本学から 10 名、ヤンゴン大学から 44 名の学生が参加しました。

日時：2020 年 9 月 14 日（火）13:00～14:30（日本時間）

テーマ：「コロナ状況下の生活」

学習形態： オンライン zoom を使用しグループごとにディスカッション

参加人数： 東京外国語大学 7 名、ヤンゴン大学 42 名

9 月 14 日は、ビルマ語班にとって初めてのオンラインタンデム学習プログラムでした。このプログラムでは日本とミャンマーの学生混合の 7 つのグループに分かれました。そして、自己紹介をした後、日本とミャンマーのコロナ禍における生活について紹介し、話し合いました。最後に、各グループを代表してヤンゴン大学と本学の学生 1 名ずつに、グループで話し合った内容について発表してもらいました。オンライン授業、家での過ごし方、家族の仕事、アルバイト、観光地の状況、各国のコロナ対策などについて活発に意見交換することができました。

日時：2020 年 9 月 16 日（木）13:00～14:30（日本時間）

テーマ：「私の町」

学習形態： オンライン zoom を使用しグループごとにディスカッション

参加人数： 東京外国語大学 6 名、ヤンゴン大学 24 名

9 月 16 日は、6 つのグループに分かれて、「私の町」について紹介し、話し合いました。地元の有名な観光地や、伝統的な祭り、農作物、名物料理、方言について紹介し合いました。2 回目のタンデム学習ということもあり、Zoom のチャット機能を利用して、単語の綴りを教え合ったり、画面共有機能を利用して写真を見せ合ったりするなど、オンラインならではの交流ができました。

ヤンゴン大学では、新型コロナウイルスの感染拡大以降授業が行われておらず、地方に帰省している学生が少なくあり

ませんでした。スマートフォンを利用して多くの学生が参加してくれました。アンケートでは、「互いに交流を深めることができた」、「ビルマ語／日本語を話す良い機会になった」、「ビルマ語／日本語を勉強するモチベーションになった」などの意見が多数寄せられました。新型コロナウイルスの感染拡大により、語学研修や留学の機会が制限されていますが、オンラインを活用した交流の可能性を感じることができました。ただし、グループ分けの際の語学レベルの調整や、テーマの設定や告知方法など、課題も明らかになりました。こうした課題は、今後のタンデム学習プログラムで改善していく予定です。

ご参加いただいたヤンゴン大学の学生のみなさん、ご協力下さいました先生方にお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。



②オンラインタンデム学習報告（2020 年 10 月-2021 年 1 月）

ビルマ語班では、協定大学ヤンゴン大学国文学部に設置された本学の Global Japan Office の協力を得て、全 6 回の Zoom オンラインタンデム学習プログラムを実施しました。参加者には、参加登録時にディスカッション・トピックを告知し、事前準備をしてもらいました。当日は、ヤンゴン大学と本学の学生混合の少人数グループに分かれ、各回のテーマについて発表し、意見交換を行いました。6 日間の合計で、本学から 20 名、ヤンゴン大学から 33 名の学生が参加しました。

今回のプログラムでは、日本とミャンマーの相互理解を深め、日本語およびビルマ語能力を効果的に身につけることを目的に、①内容重視型と②語学力重視型のプログラムを組み合わせました。①内容重視型の回は、テーマに関する内容を伝え合い、相互理解を深めることを重視しました。そのため、使用言語は問わず、日本語、ビルマ語、英語など自分の得意な言語を使って自由に意見交換をしてもらいました。②語学力向上重視型の回では、参加者の語学レベルによってグループを分けました。そして、本学の学生はビルマ語で、ヤンゴン大学の学生は日本語で各回のテーマについて発表し、互いに文法の誤りや正しい表現を教え合うようにしました。

下記の通り 3 つのテーマについて①内容重視型と②語学力重視型のタンデム学習プログラムを 1 回ずつ組み合わせて実施しました。

日時：第 1 回 2020 年 10 月 4 日（日）10:30-12:00（日本時間）

テーマ：「身近なものを紹介する」

学習形態：①内容重視型

参加人数：東京外国語大学 12 名、ヤンゴン大学 25 名

日時：第 2 回 2020 年 10 月 18 日（日）10:30-12:00（日本時間）

テーマ：「身近なものを紹介する」

学習形態：②語学力重視型

参加人数：東京外国語大学 9 名、ヤンゴン大学 21 名

第 1 回目と第 2 回目は「身近なものを紹介する」というテーマで、タンデム学習プログラムを行いました。自分の勉強机や部屋、庭の植物、水汲み場や家の近所の様子、店やカフェなど街の様子のほか、アニメやゲーム、映画など自分の趣味などを紹介し、互いに質問し合いました。

日時：第 3 回 2020 年 11 月 1 日（日）10:30-12:00（日本時間）

テーマ：「日常生活の一場面を紹介する」

学習形態：①内容重視型

参加人数：東京外国語大学 10 名、ヤンゴン大学 14 名

日時：第 4 回 2020 年 11 月 15 日（日）10:30-12:00（日本時間）

テーマ：「日常生活の一場面を紹介する」

学習形態：②語学力重視型

参加人数：東京外国語大学 10 名、ヤンゴン大学 12 名

第 3 回目と第 4 回目は「日常生活の一場面を紹介する」というテーマで、タンデム学習プログラムを行いました。ネコや犬などのペット、自宅学習、よく食べる料理、趣味、アルバイト、誕生日会やハロウィンパーティー、学園祭などのイベント、サッカー観戦、選挙のボランティア、仏様を拝む習慣やダディンヂュ祭（雨安居明けの灯明祭）、コロナ禍の寄付等について写真を見せながら紹介し合いました。

日時：第 5 回 2020 年 12 月 6 日（日）10:30-12:00（日本時間）

テーマ：「祭りと年中行事」

学習形態：①内容重視型

参加人数：東京外国語大学 7 名、ヤンゴン大学 14 名

日時：第 6 回 2021 年 1 月 10（日）10:30-12:00（日本時間）

テーマ：「祭りと年中行事」

学習形態：②語学力重視型

参加人数：東京外国語大学 6 名、ヤンゴン大学 7 名

第 5 回目と第 6 回目は「祭りと年中行事」というテーマで、タンデム学習プログラムを行いました。本学の学生は、正月の初詣やお年玉、成人式、サッカーや騎馬戦などのスポーツ行事のほか、年末の大掃除、学園祭等について紹介しました。また、ヤンゴン大学の学生は、ダジャン祭り（4 月中旬の水かけ祭）、カテイン祭（10 月の満月の翌日から一ヶ月の間に催される僧侶に袈裟などを寄進する祭）、ダザウンダイン祭（11 月の満月に行う灯明祭）、カレン民族の新年祭、日本語検定試験などについて紹介しました。また、第 6 回目は年明け初めてのタンデム学習だったため、日本語で新年のあいさつを練習しました。

このプログラムでは、グループごとにディスカッションを行った後、各グループで話し合った内容について、参加者全員の前で発表する時間を設けました。各グループを代表して、ヤンゴン大学の学生と本学の学生それぞれ 1 名ずつに発表してもらいました。第 1 回目のタンデム学習では、自分の母国語で発表する学生も少なくありませんでしたが、第 6 回目のタンデム学習では、全員が自分の学んでいる言語で発表できるようになりました。

アンケートでは、「新しい表現や文法を学ぶことができた」、「回を重ねるごとに語学力が向上した」、「日本語やビルマ語を話す際に緊張しなくなった」、「日本とミャンマーについて知識や相互理解を深めることができた」、「新しい友人ができた」、「今後も引き続き開催して欲しい」等の声が寄せられました。新型コロナウイルスの感染拡大により対面での交流が制限されているなか、少しでも交流の機会を設けようとのプログラムを企画しましたが、多くの学生にご参加いただき充実したタンデム学習プログラムになりました。今後のオンラインによる交流の可能性を感じることもできました。ご参加いただいた皆さんにお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

節分

6



③冬学期オンライン集中講義報告（2021 年 2 月）

ビルマ語班では、2 月 8 日（月）、9 日（火）、10 日（水）、12 日（金）の 4 日間にわたり、冬期オンライン集中講義を実施しました。このプログラム実施にあたっては、協定大学ヤンゴン大学国文学部に設置された本学の Global Japan Office と、2014 年度から 2018 年度まで本学で客員教授を務められたサイチョートウン先生にご協力いただきました。本学からは 1 年生 4 名と 3 年生 4 名、ヤンゴン大学からは 4 名の学生が参加しました。

今回は、実践的なビルマ語能力を身につけ、ミャンマーと日本の相互理解を深めることを目的に、次の 4 つのプログラムを実施しました。

①サイチョートウン先生による現地オンラインツアー(本学の学生のみ)

②サイチョートウン先生によるビルマ語講義(本学の学生のみ)

③オンライン・タンデム学習（ヤンゴン大学の学生および本学の学生）

④プレゼンテーション「私の町」およびディスカッション（ヤンゴン大学の学生および本学の学生）

①から③への参加を通じて、④プレゼンテーションの準備を進めていけるよう、次のような時間割を組みました。

	2021年2月8日（月）	2021年2月9日（火）	2021年2月10日（水）	2021年2月12日（金）
1	イントロダクション	オンラインツアーの導入	講義の導入	プレゼン最終打ち合わせ
2	②ビルマ語講義（1）	①オンラインツアー	②ビルマ語講義（2）	④プレゼンテーション・ディスカッション（1）
	②ビルマ語 ミニ講義ビデオ（1）	②ビルマ語 ミニ講義ビデオ（2）	②ビルマ語 ミニ講義ビデオ（3）	②ビルマ語 ミニ講義ビデオ（4）
3	③タンデム学習（1） プレゼン「私の町」（1）	③タンデム学習（3） プレゼン「私の町」（2）	③タンデム学習（5） プレゼン「私の町」（3）	④プレゼンテーション・ディスカッション（2）
4	③タンデム学習（2） プレゼン準備（1）	③タンデム学習（4） プレゼン準備（2）	③タンデム学習（6） プレゼン準備（3）	

プログラムの詳細は下記の通りです。

【①オンラインツアー】



2月9日（火）は、サイチョートウン先生がお住まいのシャン州タウンジー市をめぐるオンラインツアーを実施しました。このツアーでは、サイチョートウン先生撮影のビデオ“3 days in Taunggyi”を視聴しました。1日目は、スーラムニ・パゴダ、カックー・パゴダ、タウンジー中央市場、ナイト・マーケットなどタウンジー一帯の名所めぐり、最後に灯籠祭りを楽しみました。2日目は、早起きして仏様にお供物をし、僧侶に捧げる食事を準備して僧院に行きました。そして、ミャンマー国内でも人気の高いタウンジー市の気球祭りについて学びました。3日目は、タウンジー市から少し離れたインレー湖に行きました。湖上の家や、水上マーケット、湖畔にある古いパゴダをめぐりました。帰りに天然温泉とぶどう園にも立ち寄りしました。3日間、とても充実した旅を楽しむことができました。

【②ビルマ語講義】

2月8日（月）と10日（水）には、サイチョートン先生によるビルマ語の講義が行われました。2月8日（月）はミャンマーの教育制度について、タウンジー市の例を挙げながら講義をしてくださいました。初等、中等、高等教育の制度、コロナ状況下の教育について詳しく学んだ後、学習科目や教員数、オンライン授業の長所や短所について議論しました。2月10日（水）は、ミャンマーの社会問題の一つであるゴミ問題について講義をしていただきました。ゴミの捨て方、不法投棄、公共および民間のゴミ処理事業、伝統的なゴミ処理の方法などタウンジー市の取り組みや問題について学んだ後、ゴミ問題解決のために何ができるかについて日本の取り組みと比較しながら議論しました。講義は全てビルマ語で行われましたが、サイチョートン先生が写真や表などを用いて説明して下さったおかげで、1年生も積極的に議論に参加することができました。



また、2月8日（月）、9日（火）、10日（水）、12日（金）のお昼休みには、サイチョートン先生が制作されたシャン民族の食文化に関するビデオを視聴しました。「シャンカウスエ」、「ヒントウツ」、「コーポウツジョー」、「ガータミンネー」などの作り方を学びました。

【③タンデム学習】

2月8日（月）、9日（火）、10日（水）の午後は、ヤンゴン大学の学生と本学の学生のタンデム学習を行いました。ヤンゴン大学と本学の学生混合の3グループに分かれて、12日（金）の最終プレゼンテーション「私の町」の準備を行いました。本学に在学中のミャンマー人大学院生および研究生3名がサポートに入ってくれました。

1日目の2月8日（月）は、自己紹介を行い、各自事前に準備してきた「私の町」について発表しました。「私の町」について、どのような視点から発表したら興味深いかアイデアを出し合い、それぞれサブ・テーマを決めました。2日目以降は、このサブ・テーマによって参加者を3グループに分け、最終プレゼンテーションまでメンバーを固定することにしました。

2日目の2月9日（火）は、「私の町」についてサブ・テーマに沿って発表した後、発表内容を深めるために互いにアドバイスをしました。また、最終プレゼンテーションに向けて、グループメンバー全員の発表に共通するディスカッション・トピックについて相談しました。

3日目の2月10日（水）は、最終プレゼンテーションに向けて、日本語やビルマ語の表現に誤りがないかどうか互いにチェックしました。

【④プレゼンテーション・ディスカッション】

最終日の2月12日（金）には、本学の学生はビルマ語で、ヤンゴン大学の学生は日本語で「私の町」をテーマにプレゼンテーションを行いました。

スケジュール

- ①グループの紹介
- ②個人のプレゼンテーション
- ③メンバー全員の発表に共通するディスカッション・ポイントを何点か提示
- ④グループごとに③で提示されたポイントについて議論
- ⑤グループで話し合った意見を発表

各グループの発表タイトルとディスカッションの内容は下記の通りです。

グループ1「町の魅力」

- ・「私の町: 有名なところ（ヤンゴン）」（ヤンゴン大学）
- ・「私の町: 有名な場所（奈良）」（東京外国語大学）
- ・「私の町: 好きな所（錦糸町）」（東京外国語大学）
- ・「私の町: 町の魅力（千葉県）」（東京外国語大学）

ディスカッション・トピック

- （1）自分の住む町の好きな所
- （2）自分の住む町の欠点
- （3）どうすればより良い町になるか

グループ2「有名な場所と伝統文化」

- ・「私の町: 有名な場所（ヤンゴン）」（ヤンゴン大学）
- ・「私の町: 美しい公園がある町（吉祥寺）」（東京外国語大学）
- ・「私の町: 有名な場所と伝統の祭り（ヤンゴン）」（ヤンゴン大学）
- ・「私の町: 産業と伝統文化（福岡県）」（東京外国語大学）

ディスカッション・トピック

- （1）場所や人（民族）を象徴する植物や動物
- （2）伝統的な祭りで食べる物

グループ3「自然、開発、祭り」

- ・「私の町: 美しい自然（練馬）」（東京外国語大学）
- ・「私の町: 開発（東所沢）」（東京外国語大学）
- ・「私の町: 美しい自然（小金井）」（東京外国語大学）
- ・「私の町: 祭り（タウンジー）」（ヤンゴン大学）

ディスカッション・トピック

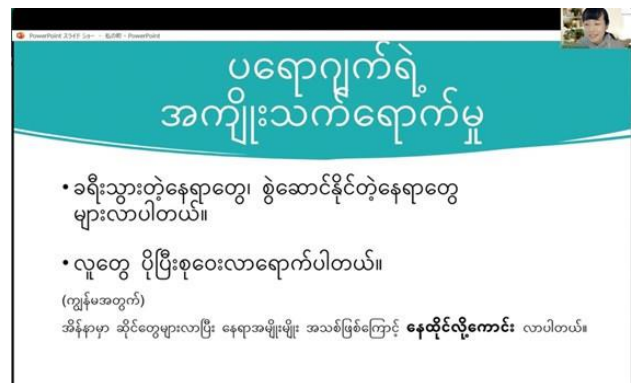
- （1）自分の町の住みやすい点

(2) 住みやすい理由

3 日間のタンデム学習の成果で、期待以上の大変素晴らしいプレゼンテーションと充実した議論を行うことができました。



プレゼンテーション「私の町」(2021 年 2 月 12 日)



プレゼンテーション「私の町」(2021 年 2 月 12 日)

【感想】

最後に、本プログラム終了後に寄せられた感想や意見の一部を紹介します。

- ・普段ミャンマーの学生と話す機会がありませんので良い機会でした。ミャンマーの学生と少人数で話すことでミャンマー語の勉強になりました。4 日間のタンデム学習プログラムだけで少しいますが前よりビルマ語が話せるようになった気がしてうれしかったです。(本学 3 年生)
- ・日本語が上手なミャンマー人留学生の方々のサポートもすごくありがたかったです。発表のためのスクリプトやスライドをたくさん添削していただきました。(本学 3 年生)
- ・ミャンマーの方とお互いに表現を教え合うことで勉強になり、ご時世のせいでまだ一度もミャンマーに行けていない中、ネイティブの方と話す機会にもなり、本当に参加できて良かったです。(本学 1 年生)
- ・コロナ禍に加えて、ミャンマー国内の混乱により、なかなかミャンマーの学生と交流することが難しいので、今回のようなオンラインタンデム学習プログラムはとても有意義なものであったと思いました。(本学 1 年生)
- ・サイチョートウン先生のシャン州についての講義は、現地に行けない今だからこそできる学び方でとても勉強になりました。特に 1 日目のオンラインツアーでは先生が映像と一緒に様々な観点でお話しいたいて、とても理解しやすく興味深かったです。(本学 3 年生)

- ・このタンデム学習プログラムを通じて多くの知識や単語を学ぶことができ、とても良かったです。（ヤンゴン大学 2 年生）
- ・とても楽しかったと思います。最初心配していましたが、日本人の友だちが親切でしたから大丈夫でした。（ヤンゴン大学 2 年生）

様々な困難に直面するなか、本プログラムのためにご協力くださった先生方や参加者のみなさまに心よりお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。